

平成 31 年度第 1 回 横浜市技能文化会館指定管理者選定評価委員会 会議録	
日 時	平成 31 年 4 月 26 日 (金) 午前 10 時 00 分から午前 10 時 45 分まで
開催場所	横浜市技能文化会館 5 階特別会議室
出席者	委員：蟹澤 宏剛委員、武田 圭子委員、中條 祐介委員、及川 伊東志委員 事務局：江南 真人（経済局市民経済労働部長）、山本 秩朗（経済局雇用労働課長）、水口 章史（経済局雇用労働課担当係長）、越田 隆紀（経済局雇用労働課職員）、堀部 剛（経済局雇用労働課職員）
欠席者	小島 貴子委員
開催形態	公開（傍聴者 2 人）
議 題	審議事項 （1）評価項目 （2）評価基準 （3）評価の決定の手順
決定事項	（1）評価項目について、事務局案のとおり決定した （2）評価基準について、事務局案のとおり決定した （3）評価の決定の手順について、事務局案のとおり決定した
議 事	審議事項 （1）評価項目 （事務局） <資料に基づき説明> （及川委員） 貸室の利用率の向上は 65%という目標があるものの重点項目となっていないが、いかがでしょうか。 （中條委員長） 事業性を持つうえでは利用率は重要だと思います。 （及川委員） ホテルなどでも稼働率が注目されますが、これはあまり重要ではないのでしょうか。 （事務局） 稼働率は重要なものだと認識しています。他方、それは指定管理者の提案の数字であり、横浜市と指定管理者で約束した協定や仕様ではありません。指定管理者側の努力目標という意味があるので、重点項目とはしていません。 （中條委員長） 利用率を高めていくのは難しい側面があると思いますが、収益として事業性を持たせるための目標として 65%という数字が出てきているのだと思います。過去の実績はいかがでしょうか。 （事務局） 30 年度の稼働率は 62.6%です。 （中條委員長） そういった数字を踏まえたうえでここより伸ばしていこうということだと思います。冒頭のとおり中間の評価としての側面がご

ございますので、昨年度より伸ばしたところを目標ということでご了解
いただけたらいいかと思いますが、及川委員いかがでしょうか。

(及川委員) はい、ありがとうございます。

(武田委員) 技能文化会館に長く関わっていますが、技能職の振興とい
うところに重点を置いて運営していると思います。そういったところ
から、重点項目は妥当なところではないかと思います。

(中條委員長) では、及川委員から 一点ご指摘はありましたが、それは
最終年度に向けて継続してみていくということで、事務局案どおりで
よろしいでしょうか。

《一同承認》

(中條委員長) それでは、事務局案どおりといたします。

(2) 評価基準

(事務局) <資料に基づき説明>

(蟹澤委員) 全体的には問題ないと思います。我々が評価する際に、す
べての実態を見ているわけではないので、指定管理者の自己評価に基
づいてそれをどう評価するかという観点がメインでよろしいでしょ
うか。

(事務局) 第2回目の委員会では指定管理者へのヒアリングと現地視
察を予定しています。自己評価をベースにしつつ、ヒアリングと視察
を踏まえて評価をしていただきます。

(武田委員) 指定管理者の意見だけでなく、利用者へのアンケートな
どの評価も資料に加えていただきたいと思います。

(事務局) 毎年度作成している事業報告書に利用者の方からのアンケ
ートをまとめています。完成次第、お送りさせていただきます。

(中條委員長) 報告書はいつできあがりますか。

(事務局) 例年5月末が目安になっています。

(及川委員) アンケートもご提出いただけるということであれば、問題
ないかと思います。

(中條委員長) それでは、事務局案のとおり進めさせていただきたいと思
います。

(3) 評価の決定の手順

(事務局) <資料に基づき説明>

(中條委員長) 一次評価では、我々はコメントを記入して、併せて評価点
も ABC で評価をつけるということでもよろしいでしょうか。

(事務局) そのようにしていただければと思います。その過程でご要望など出てくるとお思いますので、それを実地調査につなげていただければと思います。

(中條委員長) 委員会としての意見は、各委員からいただいたものを全体で討論して集約していくということでしょうか。

(事務局) 第3回委員会でとりまとめを行っていただくことを考えています。第3回委員会までに各委員から本評価をつけていただき事務局でとりまとめたものを委員会としての評価・コメントという形で決定し、報告書にしようと考えています。

(武田委員) ヒアリングと実地調査はどのぐらいの時間予定していますか。

(事務局) なるべく長くとりたいとは考えていますが、最低2時間と考えています。

(蟹澤委員) 直接の利用者ではない市民一般の方々の認知度調査は誰の役割でしょうか。委託していないから市の役割ということでしょうか。

(事務局) 市の役割であると思います。現状、調査は実施しておりません。

(蟹澤委員) 先ほどの評価項目で会館の認知度向上が重点項目としてあったので、それはどうやって把握するのかなと思いました。その指標の対象としては市民一般の方々になるのかと思います。

(事務局) 利用されていない方を含めて技能文化会館の認知度を計る方法を検討させていただきたいと思います。e アンケートなどの手法はありますが、実施時期・日程などの課題もありますので検討させていただきたいと思います。

(蟹澤委員) 予算等の都合もあると思うのでできる範囲でお願いします。評価に関して、ヒアリングや事前の視察や指定管理者のプレゼンテーションということも考えられますが、ビジュアルにレポートを見せていただくと非常にわかりやすいので、評価の際にできる範囲でご用意いただけるとありがたいです。

(中條委員長) ビジュアルなものとはどのようなものでしょうか。

(蟹澤委員) パワーポイントなどを資料でイベントの様子や普段の利用状況を画像や動画などで作成していただいて、委員会の場で拝見すればわかりやすいかと思います。

(事務局) 可能な範囲で用意させていただきます。

(中條委員長) 委員による事前の視察は可能でしょうか。

	<p>(事務局) 可能です。</p> <p>(蟹澤委員) イベントの記録をしっかりと残していただいて、文書化されたものでもいいのでビジュアルにわかるものがあるといいと思います、</p> <p>(事務局) 毎年の作成している事業報告書では、自主事業等の写真や利用者の集計などご確認いただける資料になっています。</p> <p>(及川委員) 「技能」というワードがついていると一般の人にはわかりづらいのではないかと思います。職人団体などには認知されていますし、利用していますが、和室や調理室は限られた人しか利用されていないかと思いますので、様々な方が利用できるように発信していただきたいと思います。</p> <p>また、技能文化会館には駐車場がありますが、稼働率はいかがでしょうか。</p> <p>(事務局) 駐車場の稼働率は下がっています。幹線道路沿いに駐車場ができたことや周辺の工事が行われていること、さらにマイカーの利用率が下がっているという一般的な傾向の中で稼働率が下がっていることは事実です。今後の課題であると認識しています。</p> <p>一般の市民の方々への周知は、意識して指定管理者も認知度や利用率を高めるための広報に力を入れています。市の方でも、技能文化会館の広報、PRを進めていきたいと思っています。</p> <p>(中條委員長) 会館のホームページで会議室の中を様々な角度から見られるようになっていますが、指定管理者が運用しているのでしょうか。</p> <p>(事務局) 指定管理者が行っています。</p> <p>(中條委員長) 武田委員はいかがでしょうか。</p> <p>(武田委員) 問題はないかと思います。</p> <p>(中條委員長) 以上の意見を織り込んで、事務局案のとおり進めていくということよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">《一同承認》</p> <p>(中條委員長) それでは、そのようにいたします。</p>
資 料	<ol style="list-style-type: none"> 1 次第 2 座席表 3 委員名簿 4 資料 1 横浜市技能文化会館指定管理者の第三者評価について 5 別紙 1 評価項目 (案) 6 別紙 2 業務評価表 (案) 7 別紙 3 スケジュール (案)

特記事項	第2回横浜市技能文化会館指定管理者選定評価委員会は、6月中旬を目途に日程調整することとなった。
------	---